

白根北児童館（小学生）

2 生ごみからできた堆肥で野菜づくり

令和6年6月19日（水曜）

白根北児童館で、段ボールコンポストからできた堆肥を使って、野菜の苗植え、及び、種植えを行いました。この日は、谷口農園（※）の園長を務める、アルビレックス新潟の谷口海斗（たにくちかいと）選手も、段ボールコンポストで作った堆肥を持ってかけつけてくれて、一緒に作業を行ってもらいました。

谷口選手からは、「これから収穫まで、野菜たちに話しかけながら育てていってほしい」と貴重なお言葉をいただきました。

帰り際、白根北児童館からも、段ボールコンポストで作った堆肥を谷口選手へプレゼントしました。

野菜は、ピーマン、ししとう、枝豆、トマトの4種類です。これから野菜づくりが始まります。



※「谷口農園」とは、谷口選手が園長として、アルビレックス新潟クラブハウスの敷地内でトマトやナスなどの野菜を栽培している農園です。収穫した野菜は、選手・スタッフにも好評です。